

3月
定例会

令和4年度補正予算（総額27億5,707万6千円）
令和5年度当初予算（総額793億5,313万8千円）
令和5年度補正予算（総額5億4,546万2千円）を可決

令和5年第2回3月定例会は、2月28日から3月23日まで開催され、議案28件を審議し、最終日には、議案などの採決を行いました。

また、3会派の代表者が代表質問を、議員14人が議案質疑と一般質問を行いました。発言の要旨は、会派別に4ページから9ページに掲載しています。



西条自民
クラブ

クラブ

楠 學 議員



- (代表質問)
- 1 財政運営について
 - 2 次代を担う子どもたちのための学校教育環境の在り方について
 - 3 持続可能都市西条2050への取組について

将来に向け
適切な学校教育環境の実現を！

問

市長は、施政方針において、将来の児童・生徒数の推移や教職員の働き方改革を含めた学校運営、更には施設の老朽化の状況などを考慮しながら、適切な学校教育の実現に向け、具体的な検討に着手すると述べている。

令和4年9月、将来の学校

教育環境の在り方について、具体的な検討や民意の把握のため、小学6年生及び中学3年生の保護者全員と、小・中学校教員全員に対しアンケート調査を実施しているが、その調査結果をどのように分析しているのか。

また、今後、どのようなスケジュールで学校適正化に向けた検討を進めるのか。

答

アンケート調査は、小学6年生の保護者921人、中学3年生の保護者89人、小学校教員465人、中学校教員248人を対象とし、回答率は全体で89.0パーセントとなった。アンケートでは、今後求められる学校教育環境の在り方について具体的な設問を設定しており、将来的に望ましいと思う学校配置についての設



地域の伝統芸能を学ぶ

具体的な取組は？

持続可能都市西条
2050

問

施政方針では、西条市SDGs推進協議会を中心に、LOVE SAIJOプラットフォームを生かしたまちづくりのしくみを構築

することで、持続可能都市西条2050の実現に向けた取組を進めるとあるが、今後、具体的にどう取り組んでいくのか。

答

具体的な取組としては、健康モバイルサービスとマイナンバーカードでの認証機能を連携することで、個人を特定し、健診や予防接種などの情報をデータとして保存・閲覧することが可能になることに加え、専用アプリから個人のライフステージに合った健康情報などを発信し、行動変容につなげるなど、健康寿命の延伸のための新たなサービスの創出に努めたい。今後は、誰一人取り残さないというSDGsの理念をしっかりと踏まえ、市民に対し丁寧な説明に努めながら、持続可能都市西条の実現を目指して取り組みたい。



マルシェでポイントを使うための